

深い泉

The Deep Fountain

+幸せを探すあなたへ

永遠から来た
希望の手紙

明日に送る希望の手紙 最近、東亜日報で繰り広げている「明日に送る希望の手紙」というコーナーの中で、テグクァンガン高等学校3年のチェ・ジョンウク君と、ミレニウムソウルヒルトンホテルのパク・ヒョナム総料理長の話は、穏やかな感動を与えました。チェ君は、小学校2年の時、両親が離婚した後、母親と一緒に暮らす難しい環境の中で、片足が弱い線維性骨異形成症を病みながらも、ホテルの料理人になる夢をあきらめませんでした。深夜 12時までアルバイトをして、料理学校の学費をかせいで勉強する中で、パク・ヒョナム料理長に手紙を書くようになったのですが、その希望の手紙の中で、お手本になる人に会って訓練を受けるようになったという便りでした。中学校を終えて、高等学校に行ける状況にならず、料理の道に入るようになったというパク料理長は、返事で自分自身が成功するようになった話を聞かせながら、チェ君に希望を与えました。「厨房にはじめて入ったら、普通は雑用から始める。それでは、自分が習いたい技術は習えない。それで、私は他の人々より二、三時間前に、私がすることをあらかじめ終わらせておく。身体の状態で他の人々より不便なことがあるならば、自分だけのノウハウで克服すれば良い。それで、不便なことが何があるだろうか。障害を障害だと見てあきらめる瞬間、本当に不利になるのだ…。そして、夢より重要なことは、夢に対する執念と忍耐だ。夢は当選するものではなく、満たしていくものだ…。リーダーの条件は、経歴でも学歴でもない。まさに力だ…。他の人に比べて難しい状況にあると思うだろうが、すでに目標が確実で、着実にその夢のために生きているということが、どれくらい幸せだろうか。ホテルの厨房で一日でも仕事をしてみたいという、その具体的な希望が重要なのだよ。ジョンウクがホテルに来れば、いつでも大歓迎だ…」

少しだけ真実になるならば 与えられた環境がどうであっても、希望を抱いて少しだけ真実な気持ちで挑戦したら、幸せの門は必ず開かれるようになっていきます。私の人生の過去、現在、未来を真実に振り返れるならば、誰でも条件と関係なく、時限付き人生を歩んでいて、私も知らない永遠を慕い求めているという事実を発見するようになるのです。少しだけ私自身の人生を率直に振り返れるならば、私が罪人だという事実と、その罪によってこれから来る未来に対する不安を感じながら今日を生きていっていることを発見するようになるでしょう。そして、そのむなしさの中で迫ってくる、隠れている暗やみの影の前に、私の人生がどれくらい無力で恐れに震えているかを悟るようになるのです。初代教会の当時、最高の教育を受けて、最高のエリートと認められたパウロは、自分の人生をこのように告白しました。「私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか」(ローマ人への手紙 7:24)。神様を離れた人間に訪れるようになった孤独、そして、恐れ、その中で苦しめられなければならない、隠している苦しみ…。そして、そのすべての問題は、人間の力では解決できません。なぜなら、確かに存在している暗やみの実体、聖書が話すサタンの権威が、人間を握っているためです。それで、神様は私たちに道を開いて下さいました。「(イエス・キリストの) その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放して下さるためでした…」(ヘブル人への手紙 2:14~15) 真実さは、私の真の姿を見るようにする鏡で、神様がくださった福音は、私の真の姿を回復するようにする人生の解答です。そして、信じる者に約束して下さいました。「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る」(イザヤ書 41:10) 自分の人生をつかんでいる、その何か、それは神様であって欲しいと思いませんか。

長老伝道企画時代

避けられないなら楽しみなさい

フィギュア・クイーン(Queen) 世界フィギュア・クイーン、不況の中の希望のアイコンとしてまで有名になっているキム・ヨナ選手。今の彼女になるまでには、特別な秘密があります。小学校1年の時の日記を見れば、彼女は当時、家族といっしょに「アラジン」というアイスショーを見に行った後、自分も一生けん命にスケートをして、国家代表選手になると日記帳に書いて、担任の先生に手紙を送ったということです。その手紙をもらった先生は「国家代表選手になると決心したヨナさんは、とてもすばらしいです。目標のとおり、一生けん命に努力すれば、必ず成功できます」と励ます家庭通信文を送ってくれました。ある時は、彼女は、ミニホームページにこういう書き込みを残しています。「...いらいらするほど熱い太陽の光の下で、死にそう！燃え尽きてしまう...。たいしたことじゃないと思っても、耐えられないほどだった。ある日『避けられないなら楽しみなさい』という言葉の思い浮べだ。今、考えてみればそんなことをしながら、忍耐力を鍛え、そのように難しいことを耐え抜いて勝ち抜いたので、どんなに大変でも、簡単に越えられるという考えにもなる。今回のシーズンを準備して過ごしながら、得たことが多い。良い人々、感謝な人々、自信、試合を楽しめるということなど…。ありがとうございます」

伝道キング(King) 重職者は、この時代に自他とも認める伝道のモデルです。明らかな神様のサイン(Sign)があるので、重職者は今から七つのことを祈りの課題として握って、証拠を残さなければなりません。私たちの次世代のための学業キャンプ、言語キャンプ、文化キャンプを通してグローバルな人材を見つけて立てることで、国内外の多民族システムをそろえて、次世代を持続的に助けることです。次世代のための全体的な夏の集会でホームステイを通して、実際の体験をするように個人化の作業をして重職者が持続的に地域を生かせる地教会を立てて弟子を見つけて立てなければなりません。一人のみなできないので、秘書を立てて、情報と資料をつなげて、実際に個人に方向と助けを与えなければなりません。教役者は、キャンプの図表を持って重職者を中心に地教会を立てて、弟子を全地域に拡散させなければなりません。福音的な文化、健全な文化を通して、次世代が実際的な影響を受けるように、皆が参加する文化宣教費戦略を使わなければなりません。こういう課題を心に抱いて、人生の記録を残す時、証拠は来るようになっていきます。

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもへの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただけの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)



神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンを権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

呪いから逃れなさい



三代、四代を滅ぼす呪い 魚は水の中で生きていてこそいのちがあって、鳥は空を飛んでこそ自由で、木は地に根をおろしてこそ実を結ぶように、私たちの人生もまた、神様とともにいるという創造の原理に従って生きていく時にだけ幸せなのが、本来の人間の姿です。霊的な存在である人間は、神様を離れた瞬間、水を離れた魚のように、喉が渴いてもがき、鳥かごに閉じ込められた鳥のように人生が苦しくて、根こそぎ

抜かれた木のように実もなく枯れるようになりました。人間の力では生年月日による運命、運命の呪いから決して逃れることはできません。ある日、突然、襲ってくる悪霊の働きで家庭が破壊されてしまった將軍菩薩という人は、このように話しています。うまく事業をしていた夫といっしょに、息子、娘が生まれ、高級セダンに乗って通いながら暮らしていたこの女性は、ある日、悪霊につかれることを体験するようになりました。うまく出張を言い訳にして、浮気をする男だけつかみ出して、行先まで知らせるので、一瞬のうちに町中にうわさがぱっと広がるようになりました。それ以後、悪霊につかれて苦しめられて、その悪霊を追い出そうとしていたお祓いが、どう間違ったのか、悪霊の親格の悪霊まで一度に集まって、その女の人のたましいの中に席を占めて座ってしまったのです。とにかく、夜になると、夜ごと墮落した將軍のように、女をつれて強いお酒を飲みまくるので、夫とは自然に離婚するようになって、心の中に入っている悪霊たちが、自分たちだけかわいがってくれと周りの人を病気にして苦しめるので、息子と娘とも別れて、ちりぢりに散らされ、今は自分一人が占いをしながら生きていたと言いました。出エジプト記 20 章 5 節に預言された、三代、四代が滅びる偶像崇拜の呪いを、いったいどのように防げるのでしょうか。

3つのことをアップグレード 本人とは関係なく来る呪いを原罪と言います。ヨハネ 8 章 44 節を見れば、未信者を見て「あなたたちの父である悪魔…」とされています。これが、人間には最も怖い呪いです。生きていながら、本人の失敗と誤りで呪いがくるのですが、さらに怖いのは、最後の時、サタンに捕えられて地獄に行くようになることです。それで、自分も分からずに捕われていた過去の運命と運勢、傷から、はやく逃れなければなりません。その道が、まさに福音です。そして、朽ちない永遠なこと、私の人生をかけるほどの神様のみことばを整理しなければなりません。その時、定刻祈りを通して私の人生の実際的な絵を描いて、常時祈りを通して現場で答えを確認しながら、礼拝の中で方向と答えを握って神様の力を体験するようになります。これが呪いから完全に逃れる道です。いくら立派な人も、方向を合わせられなければ、結局、失敗するようになります。

最も重要な開始は私がいまず最初に力を受けることです 皆さんが力を受けられなければ、全てのことがみな難しくなります。しかし、力を持っていれば、全てのことをみな生かします。初代教会は、現場を生かす力を持っていました。霊的な力を受けなくては、現実には勝つことはできません。神の国が臨まなくては、暗やみの勢力に勝つことはできません。そして、このみことば運動が正しく起きなくては、世界を変化させることもできません。神様の子どもへの祈りは、最も力を受ける時間なのです。最も幸せな時間です。そして、神様が準備しておかれた未来を見る時間です。神様は福音を持った者、みことばを握って祈る者に、思いがけないところで、思ってもいない方法で働かれるでしょう。「そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい」(テモテ 2:1)必ず、この力を受けてください。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

13日(月)

人生を左右する出会い(使徒 11:25~26)

人生において最も重要なのは、人間の生死、災いと祝福をコントロールされる神様に会うことです。この時、人生の中での祝福された出会いと、本を通して得るようになる意味深い出会いは、もうひとつの祝福になります。

14日(火)

重職者のための祈り(使徒 6:1~7)

祈りは、神様との真実の対話で、最も幸せな時間です。24 時間、私のすべての考えが祈りにつながって、私がいる現場で「イエスがキリスト」という福音を宣べ伝える時、暗やみが崩れる奇跡が起こります。私たちはこの働きの主人公です。

15日(水)

福音の中で障害物を取り除きなさい!

(イザヤ 62:6~12)

人間の運命と災いと呪いとサタンの権威を根絶するのが福音です。この福音を信じる者には、必ず聖霊が働かれて、暗やみの勢力が砕かれ、私の全てのものが回復します。祈りはこの祝福を味わう鍵です。

16日(木)

理念を乗り越えた真の福音運動

(使徒 8:1~8)

関西と関東、左派と右派、理念と思想、南と北の思想の限界を越えるようにするのが福音の力です。サタンの目標は、絶え間ない分裂と争いを通して滅亡させることです。これを防いで解決するのが真の福音運動です。

17日(金)

霊的な戦いに必要な武器(エペソ 6:10~18)

私たちの戦いは血肉に対する戦いでなく、サタンとの霊的戦いです。ここに最も必要な武器がまさにイエス・キリストの御名の権威を使う祈りと神様のみことばと聖霊の満たしです。神様の子どもは、絶対にほろびることができません。

18日(土)

現場を生かした小さな家庭教会

(1 コリント 16:19)

暗やみが光に勝つことができないように、福音を持ったひとりが家庭を生かします。家庭で静かにインマヌエルを味わいながら福音の根をおろして、神様のみこころを見上げながら祈る時、家庭は最高の伝道現場であり、土台になります。

週間メッセージ

産業宣教 文化と伝道(使徒 13:1~4)

伝道学 体質(テモテ 3:14~17)

核心訓練 現場を生かす弟子(地教会)

(使徒 19:8~10)

聖日 1部 神様の答えの方法(出 12:43~51)

聖日 2部 呪いから逃れなさい

(ローマ 1:18~23)



イラスト: エン・スリギ

復活 宗教

クリスチャンたちは、復活祭になれば、卵に色を塗って配る。静かに置いて見ていると、卵は動かないので、死んでいるように見える。しかし、その中の命は生きていて、鶏が抱いていれば21日後には、ひよことなる。おそらく復活を説明する時、墓の中に埋められたイエスの姿が卵のようで、結局、生き返ったということを説明するたとえのようにも思える。

世界の歴史で最も醜い戦争として知られている十字軍の戦争は、多くの死傷者と苦しみをもたらした。ある時は、ある村で4,500人もの人が未亡人になったりもしたが、多分、このような難しい時期の話だろう。ある奥さんが、とても苦しくて、他の村に逃げて身を守り、その村の保護を受けたが、感謝の気持ちで復活祭になれば、タマゴに色を塗って、その村の子どもに配ってあげていた。そこには、その人の家訓である「神様を信じなさい」という言葉を書いておいたということだ。ある少年が、その卵をもらって家に帰る時、病気になった一人の軍人に会うようになったが、とてもお腹がすいているように見えたので、プレゼントとして、もってきた卵を渡したという。その軍人が、卵をもらってみたら、自分の家の家訓があったので、それを見て、その少年にもらった場所を尋ね、とても会いたかった、愛するお母さんと会うようになったということだ。お互いの間に恵みによる祝福をもたらした復活祭の卵であった。

自然界を見れば、春、夏、秋、冬の四季の循環があるかと思えば、生物は繁殖を通した新しい成長がある。復活は、宗教の教えの中で神話の話だと考えられたり、哲学の新しさを通した復活だと、たびたび表現されたりもするが、復活はそんなことを言うのではない。

復活は、人間の罪のための神様の完ぺきな解決策だ。それは、必ず人間として罪がない者が血を流す

死があった後、その死に勝った者の姿として、よみがえることによって、その方がキリストであることを確認する手続きなのだ。死は人間ならば誰にでもあることだが、その死に勝って復活して、その姿そのままの価値を持つのは、転生や輪廻とは違った条件になる。復活する条件だけが人間の罪のための神様の完ぺきな解答になる。復活されたキリストだけが、人間が受けている呪いを解決する条件になる。復活できる宗教の教祖はキリストだと言えるが、地球上に存在したどんな者も、復活することはできなかった。ただイエスだけが復活したので、彼がキリストであることは間違いない。

復活は死を殺した事件なので、サタンがだます権威である死が無力化される事件だ。死の権威をいのちの権威で打ち砕く痛快な事件がまさに復活だ。ひょっとして押さえられていることがある人がいるならば、その押さえられることの根源を崩してしまった事件が復活で、苦しんでいる人がいるならば、その苦しみの根を抜いてしまった証拠が復活だ。サタンが持って振り回す暗やみの権威を、一気にたたき壊した事件が復活なので、これ以上、宗教の虚構に縛られて苦しむを受ける理由が、ただ一つも存在しない。したがって、復活は宗教が福音かを区分する分岐点になる。宗教の限界を跳び越えることなので、復活は宗教ではないが、宗教に縛られたあなたに福音を与えるために、宗教の色をつけている。いのちはそのままであるから、色を塗った卵の祝福のように、キリストに会う祝福を味わおう。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください

